

特別支援教育の担当者実践交流サークル

第2水曜日19:00~20:30 参加費は無料です。

会場はサポートハウス「わにの家」

第2ハウス（武蔵小杉駅下車 徒歩10分）です

11月は9日(水曜日)に実施しました。

12月は休みです。



◇10月の報告◇

今回は通常級担任からの報告を元に学習を進めました。教科の学習内容の理解にはあまり問題はないが、学習への集中が困難、片付けが苦手な子の行動に支障が生じている、友達の行動が気になりすぐトラブルになるetc. そのようなお子さんは少なくないですね。そうすると給食なども、小グループで準備ができてお行儀よく待てるところからOKとなると片付けが苦手な子がいるグループは後になりがち。グループの中にも不満がたまってきて、迷惑な子と思われてしまい本人はできない自分に自信喪失。通常級の教育課程はこの年齢ならこのことはできるはずという発達指数で判断して学習や活動が編成されています。でも、どれもそこまで到達している訳ではありません。また、本人の努力だけでクリアできるとも限りません。教師も親もできないことばかりに目が行きがちだけれど、「心に届く褒め方」で「できたことを褒める」ところからスタートをという助言がありました。特別支援教育に携わった経験は、通常学級で大いに参考になると思います。

*川上康則先生の「通常級での特別支援教育ライブ講義 発達につまづきのある子の輝かせ方」は具体的で参考になると思いました。



月刊「みんなのねがい」 11月号 (715円 送料79円)

特集＝医療的ケアの今とこれから

- ・医療的ケア児をめぐる現在／下川和洋（地域ケアさぼーと研究所）
- ・一人ひとりの生活を大切にした療育を／市原真理
- ・わが子の学校での医療的ケアに願うこと／山本香織
- ・学校卒業後、地域生活の現状と実践／原田文孝
- ・ゆたかな学び、生活を保障するために
——課題と展望／古澤直子（編集部）

発達の中の煌（きら）めき

第1部 障害のある子ども・なかまの発達

第8回 「～ダケレドモ～スル」と心をまとめあげていく～二次元可逆操作期の自分づくり

／白石正久（龍谷大名名誉教授）白石恵理子（滋賀大）

仲間と親とあゆみ続けて

—32年間の障害者福祉実践

第8回 仲間の高齢化の課題に向き合う

／佐藤さと子（ゆたか希望の家 相談支援事業所）

基礎から学ぶ 障害と医療

第2回 薬と生活の質 ②副作用と依存症の問題

／根来秀樹（信貴山病院 ハートランドしぎさん）

ニュースナビ

「特別支援教育に関わる教師の専門性向上」にかかわる教育行政の動向／児嶋芳郎（立正大学）

発達保障インタビュー バトンゾーン 第20回

教育・医療・福祉の公的保障をめざして

—長野の障害者運動と私の歩み（下）

／原 金二（全障研長野支部）

2022年度 第2回

<コロナ感染症の予防に十分配慮して実施します>

移動支援事業等従事者養成研修講座のお知らせ

※学校や施設への送迎、おでかけサポートなど、とてもやりがいのある障がい児者の地域での生活を支援する事業です。 対象：高校生から。

ご希望の方ぜひご参加を！ サポーターが足りなくて支援のご希望に応えきれず、困っています。お知り合いの方、ご近所の方などにもお勧めください。

実施日： 2023年1月21日(土) 13:10~16:40 受付13:00~

会場： 川崎市生涯学習プラザ 301会議室 〒211-0064 川崎市中原区今井南町28-41

JR南武線・東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」下車徒歩10分

※参加ご希望の方は、

「サポートハウスわにの家」までご連絡ください。

申込は1月12日（木）まで。 定員は30名

